

令和元年度

社会福祉法人 若楠

事業報告書

目 次

本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～ 6

- I 法人の運営概要
- II 理事会・評議員会及び監事の監査状況
- III 職員研修・福利厚生事業
- IV 入札を伴う契約及び随意契約
- V その他法人主催行事

若楠療育園・・・・・・・・・・・・・・・・ p 7～21

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会との交流
- V 総務

若楠児童発達支援センター・・・・・・・・ p 22～25

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況

若木園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 26～35

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 保健衛生
- V 食事班
- VI 地域支援
- VII 地域社会との交流
- VIII 総務

青葉園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 36～43

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 生産型活動における生産品等、販売実績
- V 医務
- VI リハビリテーション
- VII 栄養課
- VIII 総務課
- IX 障害福祉サービス事業及びその他社会福祉事業の実施状況
- X 地域社会との交流

もしもしネット・・・・・・・・・・・・・・・・ p 44～47

- I 障害者就業・生活支援センター事業の実施
- II 研修の受講
- III その他
- IV 総括

どんぐり村・・・・・・・・・・・・・・・・ p 48～51

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- VI 地域社会との交流
- V 総務

グリーンファーム山浦・・・・・・・・・・ p 52～61

- I 運営の概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会との交流
- V 総務

本 部

I 法人の運営概要

平成から令和へと変遷し、法人若楠は新たな気持ちで業務の推進に努めた一年であった。法人の制度改革が進められる中、法人理念のもと、利用者・保護者の満足度を高めるとともに、経営の安定化に努めることができた。また、仕事の要は人材であることから、法人理念を根幹とする人材育成・確保と職員採用、並びに働きやすい職場づくりの推奨及びメンタルヘルス室の活用促進を行い、離職防止・健康増進に取り組んだ。

法人全体として、福祉を取り巻く環境が変化する中で、各施設の課題を洗い出し、地域に貢献する笑顔溢れる施設として健全な運営・サービスの向上に努めることができた。

II 理事会・評議員会及び監事の監査状況

1 理事会の開催

第1回 理事会

日時 令和元年5月31日（金） 午後1時00分より

場所 若楠療育園 会議室

理事出席者 5/9名 監事出席者 1/2名

議題 第一号議案 平成30年度事業報告並びに決算

第二号議案 定款変更

第三号議案 理事・監事の候補者名簿

第四号議案 諸規則の改正

第五号議案 施設設備等整備事業

第六号議案 定時評議員会の日程について

第2回 理事会

日時 令和元年6月14日（金） 午後5時20分より

場所 花やしき

理事出席者 9/9名 監事出席者 1/2名

議題 第一号議案 理事長の任期満了に伴う改選に関する件

第3回 理事会

日時 令和元年9月2日（月） 午後1時00分より

場所 若楠療育園 会議室

理事出席者 6/9名 監事出席者 1/2名

議題 第一号議案 若木園の運営規程の改正に関する件

第4回 理事会

日時 令和元年12月6日（金） 午後4時00分より

場所 花やしき

理事出席者 8/9名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 令和元年度予算執行状況
第二号議案 諸規則・諸規程の改正
第三号議案 施設設備等整備事業
報告事項 ・令和元年度保健所立入検査の改善措置状況「若楠療育園」

第5回 理事会

日時 令和2年2月28日（月） 午後3時00分より

場所 若楠療育園 プレイホール

理事出席者 8/9名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 令和元年度予算執行状況
第二号議案 令和元年度補正予算案
第三号議案 令和2年度事業計画案
第四号議案 令和2年度予算案
第五号議案 諸規程の制定・改正
第六号議案 施設設備等整備事業
報告事項 ・令和元年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導結果通知書
「若楠療育園」「若楠児童発達支援センター」「青葉ホーム」
「グリーンファーム山浦」

2 評議員会の開催

定時評議員会

日時 令和元年6月14日（金） 午後4時00分より

場所 花やしき

評議員出席者 9/10名 監事出席者 1/2名

議題 第一号議案 平成30年度事業報告並びに決算
第二号議案 定款変更
第三号議案 理事・監事の選任

3 監事の監査

第1回監査（令和元年5月30日）

平成30年度決算内容及び各施設の諸帳簿、財務諸表等の監査（平成29年度決算最終監査）
法人全体の平成30年度における預金通帳、諸帳簿、入園者の処遇及び預り金等の監査

III 職員研修・福利厚生事業

1 職員研修

新採用職員

日時 平成31年4月1日（月）、2日（火） 両日とも午前8時30分から午後5時15分まで

場所 若楠療育園プレイホール、どんぐり村研修室、各施設

内容 職員の心得・法人理念・福祉制度・理念の実践演習・各施設見学等

新採職員どんぐり村実習

日時 平成31年4月27日（土）～5月6日（月） 各日とも午前8時30分から午後5時15分まで

場所 どんぐり村

内 容 実地研修

1年経過者職員

日 時 平成 31 年 4 月 26 日（金） 午後 1 時から午後 5 時まで
場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 法人理念、グループワーク「1 年を振り返って」、先輩からのメッセージ、自己目標の発表

主任等

日 時 令和元年 7 月 12 日（金） 午後 1 時 30 分から午後 6 時まで
場 所 マリーゴールドブルミエ
内 容 理事長講話、常務理事講義、グループワーク

課長等

日 時 令和元年 9 月 6 日（金） 午後 3 時から午後 6 時まで
場 所 花やしき
内 容 理事長講話、ポスターセッション

メンタルヘルス

日 時 令和元年 10 月 3 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで
場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 講話「メンタルヘルスについて」、グループワーク

2 運営

令和元年度中間業績報告会

日 時 令和元年 11 月 1 日（金） 午後 2 時から午後 5 時まで
場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 法人若楠の運営方針・各施設の令和元年度事業中間報告

令和 2 年度事業計画説明会

日 時 令和 2 年 2 月 25 日（火） 午後 2 時から午後 5 時 15 分まで
場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 法人若楠の運営方針・各施設の令和 2 年度事業計画発表

3 福利厚生

職員健康診断

期 日 令和元年 9 月 9 日（月）～13 日（金）、9 月 17 日（火）～18 日（水）
検査項目 35 歳以上 生活習慣病健診 35 歳未満 定期健診
対 象 者 492 名（受診者 401 名・他病院 91 名）

夜勤者健康診断

期 日 令和 2 年 1 月～2 月
検査項目 一般健診
対 象 者 夜勤者 161 名（若楠療育園 55 名・若木園 33 名・青葉園 73 名）

コーワパークホテル湯布院倶楽部利用券発行 利用促進の案内(随時)及び利用券の配布

4 メンタルヘルス室

人材確保のためのフォローの一環として、周知と利用促進を重点的に行った。

(1) 相談業務

＜月別職員メンタルヘルス相談数＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	－	25	30	30	22	16	24	21	20	22	17	27	254

※4月は打合せのみ

※月平均利用者数 21.2人

＜メンタルヘルス相談延べ人数推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
利用者数	79	38	92	77	254

※各施設担当者と打合せの上、実施したところ、全員に相談の機会を与えた施設もあり、大きく増加した。

※新規採用者面談 計22名(6月～9月)

※高ストレス者面談 計2名

(2) 研修会

＜法人全体＞

- ・メンタルヘルス講習会 新人研修 「オリエンテーション」
- ・メンタルヘルス講習会 新採後6ヶ月研修 「働き方研修」

＜各施設＞

- ・青葉園 安全衛生委員会研修「セルフケア」
- ・若木園 メンタル研修会「セルフケア」
- ・どんぐり村 管理者研修会

(3) 職場復帰支援

- ・メンタル休職者の方のうち3名に実施。復帰後、就業中。

IV 入札を伴う契約及び随意契約

入札を伴う契約・・・該当なし 随意契約・・・・・・該当あり

V その他法人主催行事

平成31年4月1日(月) 新年度会(入社式)
令和元年5月7日(火) 第42回創立記念式典(永年勤続者表彰)
令和2年1月6日(月) 新年挨拶の会

若楠療育園

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠療育園は、社会福祉法人若楠の基本理念のもと、各事業における支援の質の向上を図り、入園・在宅利用者のニーズに真摯に応えるとともに、地域連携・地域貢献にも力を注いだ。

- (1) 適正な人員配置を維持し、各種個別支援計画のもと快適で安全なサービスを実施
適正な人員配置を保ちながら、利用者一人ひとりの状況に応じた良質かつ、安心していただけるサービスの提供に努めた。
- (2) 短期入所事業等の利用者増を図った
短期入所事業では、昨年度に続き医療的ケア児等在宅支援事業を受託した。
また、ケースワーカーを増員し、利用者増に繋がった。
- (3) 地域の障害児者への外来診療の積極的実施
一般外来の受診者が増加した。中でも、発達外来受診者の増加が大きかった。
- (4) 危機管理体制の強化
防犯対策を継続して行った。防災に対しては、毎月の防災訓練で基本を確認した。2月以降は新型コロナウイルス感染防止のための対策と、備えについて取り組んでいる。

II 利用者の状況

1 年齢

(1) 療養介護・医療型障害児入所（入所）

年齢	20歳未満	20～39歳	40～59歳	60歳～	合計
男	3	13	7	14	37
女	2	10	15	15	42

※措置児(20歳未満)4名含む(男3名、女1名)

(2) 生活介護（通所）

年齢	20歳未満	20～39歳	40～59歳	60歳～	合計
男	0	16	2	0	18
女	1	9	4	0	14

(3) 児童発達支援（重心）

年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	合計
男	0	1	0	1	0	1	3
女	0	0	0	0	0	0	0

(4) 放課後等デイサービス (重心)

年齢	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	合計
男	2	0	0	4	0	1	7
女	1	0	2	0	0	1	4

Ⅲ 事業の実施状況

1 医療部

(1) 医療課 (外来)

①外来受診者総数 (表1)

外来受診者総数は 19,550 人から 19,841 人と微増(+291 人)であった。

月平均外来受診者は 1,653 人で、昨年度比+24 人。

一般外来受診者 (法人関連通所施設の受診者含む) が昨年度比+395 人と最も増加していた。

②小児発達外来(発達障害児の心理検査、リハビリ、定期フォローなど)の受診状況 (表2)

診療科別では発達外来受診者が最も多く、受診総数は 11,467 人と昨年度比+381 人と増加した。

- ・新患は 277 人で昨年度比+8 人であった。新患については心理検査を行った後に診断や療育の調整を行うが、新患一人につき複数の検査を行い、後日検査結果や診断内容の説明などを行うため、現在の新患数で、発達外来枠は飽和状態となり総数に大きな変化はなかったと思われる。

- ・再診は 11,190 人 (昨年度比+373 人)。中でも、言語訓練が+303 人と顕著に増加しており、言語訓練のニーズの高さがうかがえる。

③その他診療科の受診状況 (表2)

- ・発達外来以外の診療科で、昨年度に比べ受診者数が増加したところは、小児科一般診療の+32 人と精神科の+194 人。

- ・小児科の新患数は減少した。(昨年度比-26 人)

④保険外診療の受診状況 (表3)

- ・乳児健診、予防接種は昨年度からやや減少しているが、地域の小児数の減少の影響と思われる。

- ・インフルエンザ予防接種は例年と同程度であった。

※一般健診は法人他施設利用者(入園者含)、新採健診、職員健診、保育園入園前健診の合計

<表 1. 外来受診者総数>

	青葉園	若木園	職員	一般外来	合計
平成 30 年度	2,309	1,391	1,107	14,751	19,550
令和 元 年度	2,421	1,403	787	15,146	19,841

＜表 2．診療科別外来受診状況＞

	小児科	発達外来	精神科	内科	皮膚科	リハ科	合計
平成 30 年度	1,894	11,086	3,452	409	249	72	17,162
令和 元 年度	1,926	11,467	3,646	306	189	62	17,596

＜表 3．保険外診療＞

	一般健診	乳児健診	予防接種	インフル予防接種
平成 30 年度	553	80	1,238	1,069
令和 元 年度	544	58	1,142	1,083

(2) リハビリテーション課

①「障害児（者）リハビリテーション料」施設基準

- ・施設基準に基づいた入園者、在宅利用者への理学療法(PT)、作業療法(OT)、言語聴覚療法(ST)の実施。
- ・入園者については3職種全ての担当者を配置。加齢に伴う機能低下等の早期発見、報告、対応に努めた。
- ・乳幼児の入園者に対して「発達段階に応じた対応・相談」を行った。

②佐賀県障害児等療育支援事業

- ・予算上限が定められた中、管理を行いながら県内在住の希望者、通所事業所に対して「外来相談」「訪問相談」「研修会講師派遣」を行った。

③法人内施設ニーズへの対応

- ・青葉園、若木園利用者のニーズに対しては、各種ニーズに専門職が対応できるサービス提供体制を整えた。

④巡回相談

- ・保育園、幼稚園のニーズに対しては、専門職が保育士へ助言・指導を行った。

⑤専門性の研鑽

- ・担当分野を明確に研修参加などにより、専門性の向上に努めた。

(PT)「疼痛」、「呼吸」、「乳児期運動発達」

(OT)「日常生活動作」「福祉用具」「発達障害」

(ST)「コミュニケーション」「摂食・嚥下機能」「社会的技能」

(3) 歯科

①診療実績

- ・「実患者数」と「のべ患者数」は、それぞれ前年度比 93.4%、90.0%であった。
- ・他施設からの紹介患者は 36 名であった。
- ・全身麻酔は 46 名に実施した。

②保険収入

- ・前年度比 89.6%であった。

③研究活動・学会発表等

《歯科医師》

- ・第 14 回障害者歯科アクティブネットワーク九州(大分)においてシンポジウム「地域で診る障害者歯科 ～センターとかかりつけ医の望ましい関係を考える～」のシンポジストを務めた。
- ・第 36 回日本障害者歯科学会学術大会(岐阜)においてシンポジウム「地域包括ケアシステムにおける障害者歯科医療を考える」のシンポジストを務めた。

《歯科衛生士》

- ・第 36 回日本障害者歯科学会学術大会(岐阜)において演題「腎血管筋脂肪腫に対してエベロリムスを投与された結節性硬化症の口腔衛生管理の1例」を学会発表した。

④地域への貢献

- ・鳥栖・三養基地区の歯科医師会や保健福祉事務所と連携した難病患者等歯科保健事業ネットワーク検討会に参加した。
- ・歯科衛生士学校への講師派遣（3校：九州医療専門学校・佐賀歯科衛生専門学校・久留米歯科衛生専門学校）と当園での臨床実習指導（1校：九州医療専門学校）を行った。
- ・佐賀県歯科医師会主催の障害者歯科地域協力医研修会に講師を派遣した。
- ・九州地区重症心身障害看護師研修会に講師を派遣した。

< 歯科受診者状況 >

(のべ患者数)

	若楠療育園	青葉園	若木園	一般外来	職員	合計
平成 30 年度	859	1,422	351	1,932	46	4,610
令和 元 年度	733	1,188	260	1,925	41	4,147
前年比	85.3%	83.5%	74.1%	99.6%	89.1%	90.0%

＜他施設からの紹介の状況＞

	開業歯科医院	佐賀整肢学園 歯 科	久留米大学病院 歯科口腔医療センター	聖マリア病院 歯 科	その他	合計
平成 30 年度	20	2	8	4	1	35
令和 元 年度	27	3	3	2	2	37

(4) 栄養課

①栄養管理・入園者の食形態

＜食種別人数の変化＞

平成 31 年 4 月昼食 76 名		令和 2 年 3 月昼食 79 名	
常食	50	常食	50
減塩食	1	減塩食	1
糖尿病食	1	糖尿病食	1
脂質異常食(減 1 含む)	2	脂質異常食(減 1 含む)	2
臍臓食	1	臍臓食	1
消化食	(脂質 1)	消化食	(脂質 1)
絶食	1	絶食	2
流動食	18	流動食	21
離乳食	2	離乳食	1

＜食形態別人数の変化＞

	常 食	荒刻み食	刻み食	ソフト食	ミキサー食	その他 (離乳食・胃ろう ペースト食)	流動食
平成 31 年 4 月 昼	14	5	20	11	4	3	18
令和 2 年 3 月 昼	13	5	20	10	6	2	21

※昼のみ経口摂取を含む

＜地域支援・児童発達の昼月述べ平均＞

事業名	月平均食数	事業名	月平均食数
生活介護	325 食(短期入所昼食含む)	短期入所	朝 34 食 昼 44 食 夕 38 食
児童発達	145食(発達 127、重心18)	託児所	197 食

(5) 薬局

- ①療育園の調剤数は減少している。その要因の1つとして、臨時処方の定期化による臨時処方箋の減少があげられる。
- ②外来の調剤数は年々増加。小児神経系医薬品(コンサータ等)の処方増加によるものと考えられる。
- ③現在採用の先発医薬品のうち、オーソライズド・ジェネリック(AG)が存在する医薬品については、AGへ移行中。

<各施設の調剤数>

	若楠療育園	青葉園	若木園	グループホーム	一般外来	合計
平成29年度	16,180	10,354	5,483	1,170	7,723	40,910
平成30年度	14,607	10,071	5,340	914	8,947	39,879
令和元年度	13,830	10,710	5,130	1,032	9,100	39,802

(6) 放射線

- ①撮影件数は減少している。手の拘縮をきたしている入園者が多くなり、撮影困難な場合が増加しているのも原因の一つと考えられる。

<エックス線撮影件数>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
704件	851件	802件	773件	686件

<令和元年度 X線検査総数>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ポータブル ・ 撮影室	胸部	43	147	95	52	18	12	6	13	19	7	21	18	451
	腹部	2	2	1	1	1	2	0	0	5	0	4	1	19
	躯幹骨		6	2	5	0	0	0	2	0	6	6	1	28
	四肢骨	3	3	2	3	0	1	0	2	0	3	0	4	21
	全脊椎	1	0	0	1	0	2	1	0	0	1	0	0	6
	PEG・MT交換	7	6	8	8	6	9	9	3	12	8	4	13	93
	骨塩定量	0	0	0	3	6	6	0	0	8	3	6	4	36
	パノラマ	4	1	1	1	1	0	2	1	1	1	3	4	20
	小計	60	165	109	74	32	32	18	21	45	29	44	45	674
透視室	PEG・MT交換	1	0	2	1	3	0	1	0	2	1	1	0	12
	総計	61	165	111	75	35	32	19	21	47	30	45	45	686

2 入所支援部

(1) 看護課

①10 対1看護体制の継続と看護・介護サービスの向上

- ・10 対1看護体制は継続することができたが、労災で長期休みが出たため影響があった。
- ・高齢化、重度化がすすむ中、2名の死亡者があり看取りを実施した。新規入園者3名の中に措置児もあり、児童相談所・予防接種調整のために保健所とも連携を継続している。
- ・学生指導・重心・てんかん・褥瘡・急変対応等の研修に参加して情報提供をした。
- ・看護計画の標準化を進め、データ管理とした。

②短期入所サービスの充実と利用者の積極的な受け入れ実施

- ・登録者数 50 名。年齢層 7～54 歳、年間利用延べ人数 939 人(441 人増加)
1 日 2.56 名利用。新規契約者 1 名、緊急時受け入れ 3 名。
- ・身体拘束記録の説明と同意、事故発生時・感染症発生時対応を家族に再度説明し理解を深めてもらった。
- ・医療・相談記録用紙を導入し情報の共有化を図った。
- ・今年度保護者より2件の苦情があり、速やかに対応すると共に支援の統一化を会議等で発信し、安心・安全の意識を深めた。
- ・新型コロナ感染対策として利用の制限・中止をお願いした。(令和2年3月～)

③感染防止・医療安全対策の強化

- ・医療安全研修として「安心・安全な移乗」「児童虐待の心理と背景」を実施。
また、各課事故報告の振り返りで今年度の反省と次年度への課題へと繋げた。
- ・感染防止研修として「手洗い強化週間」「施設における感染症対策」を実施した。
- ・毎月ラウンドを実施し、職員の清潔に関する意識向上を図った。
- ・利用者2名からインフルエンザ発生したが感染拡大はなかった。また、ノロウイルスの発生はなかった。
- ・新型コロナ感染症対策を随時実施し、情報の発信を行った。

④ユニットケアの充実を図る

- ・各ユニットの年間目標を掲げ、安心安全なサービスを提供した。
- ・看護計画、療育活動等、日々の生活がより豊かなものになるように、情報発信、周知徹底、報連相の徹底を図った。
- ・ユニットの年間計画に添って、家族、保護者と交流を図った、新型コロナウイルス感染症対策として令和2年3月より面会制限・中止・ボランティアの方の関わりも中止し、ユニット活動での支援が中心となった。

(2) 生活支援課

①利用者のライフステージにあった個別支援計画の作成と実施

- ・本人、家族のニーズを重視した個別支援計画の作成を行い、利用者との関わりを充分に持つことができるようになってきた。支援員を中心に、ユニットスタッフの療育活動への意識も高まっており、療育の重要性を認識するスタッフが増加し、協力体制が強化できている。
- ・児童の措置入所が増加し、これまで以上に児童相談所との連携が必要となった。予防接種のアクシデントが発生し、より連携を強化し対応することが求められた。
- ・利用者の楽しみを実現する機会としてお楽しみ会を実施した。各ユニットにて計画し、個々のニーズに応じた外出や活動が安全に実施できた。
- ・モニタリング、個別支援計画書の様式の見直しを行い、簡素化を図った。

②日中活動の充実

- ・入所児童を対象としたこどもクラブを展開し、発達段階に応じた活動の提供、季節行事を通じた経験の習得、就学に向けた生活リズムの形成等を目的とした活動を行い、充実した活動が実施できた。
- ・看取りの利用者に対し、本人・家族の思いを傾聴した終末期生活の過ごし方を検討、提供することができた。
- ・クリスマス会前日に利用者がインフルエンザを発症し、感染対策を講じ内容を変更して行った。発症生活棟（第一）の保護者参加を取りやめ、ユニット利用者と職員で開催し、クリスマスの雰囲気をゆったりと楽しむことができた。
- ・年間行事について、自然災害、猛暑、大雪等のリスク回避を図るための検討を行い、ファミリーデーの中止、クリスマス会の見直し、他行事時期の調整を行った。
- ・中原特別支援学校高等部への入学希望調査を行い、新たに5名の進学の調整を行った。

③保護者との信頼関係の維持構築

- ・面談会や各行事、面会時において家族からの要望を傾聴し、迅速に対応することができた。
- ・新規利用者の家族の要望が多様化しており、迅速に対応し、職員間での情報共有を図った。

④地域との連携強化

- ・新規ボランティア（朗読）の啓発を行い、実施に向けた調整を行った。
- ・退職者にかかわら版郵送補助作業のボランティアを募集し、新規登録に繋がった。

<年間行事>

月	行 事	月	行 事
4 月	花祭り(3 日) 中原特別支援学校入学式(10 日) 前期面談会(6 日～21 日) 保護者の会総会(14 日) かつば座公演(30 日)	10 月	療育園祭(19 日)
5 月	第 4 2 回創立記念式典(7 日) 若楠杯ふうせんバレー大会(25 日)	11 月	若楠保護者の会ボランティア(23 日) 若楠感謝祭(23 日)
6 月	保護者の会勉強会(1 日) 野球観戦(2 日) 聖ヨゼフ園交流会(12 日) 総合防災訓練(26 日)	12 月	若楠療育園クリスマス会(15 日) 保護者・職員懇親会(15 日) お好み焼き会(19 日) もちつき会(25 日)
7 月	若楠ファミリーデー(6 日) ボランティア勉強会(28 日)	1 月	新年の祝い(1 日～3 日) 成人式(11 日)
8 月	弥生が丘夏祭り(17 日) 第 2 生活棟夏祭り(23 日) 第 1 生活棟夏祭り(29 日)	2 月	法人若楠ボランティア懇親会(1 日) 園内研究発表会(5 日) 梅まつり(23 日)
9 月	後期保護者面談会(14 日～23 日) 夜間防災訓練(20 日)	3 月	中原特別支援学校卒業式(11 日)

※季節・小行事、ユニット行事（家族参加も含む）はユニット単位で行った。

3 地域支援部

(1) 地域支援課

①安定的な事業運営

- ・適正な人員配置基準を維持し、利用者一人ひとりのニーズに応じた良質かつ安心なサービスの提供に努めた。

②障害の重度化・高齢化・医療的ケア児等への対応と支援の質の向上

- ・超重症児者、準超重症児者の利用増加に対して、適切な医療的ケアができた。
- ・日中活動の充実に努め、生活介護事業では外出支援の強化を図ることができた。

③業務の効率化及び明確化

- ・事務業務の統合を図り体制強化することができた。

④地域福祉サービスの拡充

- ・居宅訪問型児童発達支援、鳥栖市内小学校への訪問看護事業など専門職員による兼務対応を進め実施することができた。

＜各事業利用者数推移＞

・生活介護事業

	登録者数	実施日数	利用延人数	1 日平均利用者数
平成 30 年度	33	312	3,795	12.2
令和 元 年度	32	340	3,691	10.9

・多機能型（重心）児童発達支援・放課後等デイサービス

	登録者数	実施日数	利用延人数	1 日平均利用児数
平成 30 年度	16	243	1,010	4.1
令和 元 年度	14(1)	247	669(6)	2.7

・日中一時支援事業

	利用契約者	利用延件数	1 日平均利用件数
平成 30 年度	65	1,872	5.1
令和 元 年度	51	1,417	3.9

・居宅介護等事業

	利用契約者	利用延件数	1 日平均利用件数
平成 30 年度	17	1,685	4.6
令和 元 年度	17	1,877	5.1

・福祉有償運送サービス

	利用契約者	サービス延件数
平成 30 年度	16	1,116
令和 元 年度	13	1,012

（２）総合相談室

①計画相談事業

	障害者	障害児	計
平成 30 年度	786 件	556 件	1,342 件
令和 元 年度	838 件	472 件	1,310 件

・重症心身障害児・者のみ新規受け入れを行う

②佐賀県障害児等療育支援事業

	外来相談	訪問相談	施設職員等支援	療育機関支援
平成 30 年度	986 件	348 件	57 件	27 件
令和 元 年度	1402 件	258 件	156 件	21 件

- ・平成30年度は県予算上限が650万、令和元年度は県予算上限が861万になったため、件数が増加している。

③認定調査

平成30年度	58件
令和元年度	76件

④鳥栖市巡回支援専門員整備事業

平成30年度	204件
令和元年度	231件

- ・令和元年度は鳥栖市の予算上限が280万だったため、上限に達したところで事業を中止し、その分佐賀県障害児等療育支援事業で対応している。

4 事務部

(1) 事業種別に応じた適正な事務処理及び情報発信

毎月の各種事業の実績及び会計データの分析と職員の加算取得の配置基準等も月ごとに検証して安定的な運営を行うことができた。

(2) 業務の効率化のさらなる徹底

業務効率化会議を立ち上げ、各部署への協力を呼び掛けた。

(3) 良好な職場環境の提供

①衛生委員会を中心に、メンタルヘルス室と連携しながら良好な環境づくりに努めた。

②働き方改革関連法の施行にあたり、計画的な年次有給休暇取得を呼び掛けた。

③広く職員に参加を呼びかけ、各課対抗ボッチャ大会を企画、職員の親睦を深めることができた。3月にはミニ運動会を企画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、延期とした。

IV 地域社会との交流

1 実習生の受け入れ

<令和元年度 受入状況>

実習生合計人数 461人	
実習の種類	実習校
理学療法士	医療福祉専門学校緑生館
作業療法士	医療福祉専門学校緑生館・西九州大学・福岡国際医療福祉学院
言語聴覚士	麻生リハビリテーション大学校
歯科衛生士	九州医療専門学校
保育士	西九州大学子ども学科・福岡こども短期大学・福岡こども専門学校 九州龍谷短期大学・九州大谷短期大学・筑紫女学園大学

	西九州大学短期大学部
介護福祉士	神埼清明高校・西九州大学短期大学部・三井高校
看護師	純真高等学校看護専攻科・緑生館・純真大学看護専攻科 古賀国際看護学院・精華女子高等学校・九州アカデミー看護専門学校 聖マリア学院大学・金立特別支援学校・中原特別支援学校
調理師・栄養士	佐賀女子短期大学
臨床心理士	福岡女学院大学・西南学院大学・西九州大学・筑紫女学院大学
医学科学外学習	久留米大学医学部
見学実習	福岡こども短期大学・筑紫女学院大学・西九州大学大学院
職場体験	鳥栖中学校

2 ボランティア

(1) ボランティア

<ボランティア数と状況>

① 受け入れ

ボランティア延べ総数 595名（月平均50名）	
	ボランティア内容
生活場面	ヘアメイク
行事	わかくす杯・弥生が丘夏祭り・療育園祭
クラブ活動	華道クラブ・茶道クラブ・木りんクラブ・カラオケクラブ エンジョイお話クラブ・フラワーアレンジ・コールとりんす
趣味・余暇	朗読・散歩・話し相手・マッサージ
その他	裁縫・壁画制作・空調、配電の点検整備・車椅子清掃 かわら版郵送補助

② 啓発活動

名 称	月 日	参加数	内 容
ボランティア 勉強会	7/28 (日)	15名	体験講座他 「いただいた元気」山下正剛様
法人若楠 ボランティア 懇親会	12/1 (日)	87名	ボランティア紹介 アトラクション（ゲーム、落語、弾き語り）

3 交流活動

(1) 地域行事への参加

- ・弥生が丘夏祭り
- ・若楠感謝祭
- ・グリーンファーム山浦梅まつり

(2) 地域芸術スポーツ行事への参加

- ・ コールとりんす定期コンサート（鳥栖市社会福祉会館）
- ・ 野球観戦（ヤフオクドーム）
- ・ かつば座公演

(3) 中原特別支援学校 交流行事への参加

- ・ 入学式・卒業式・校外学習・文化祭・体育祭参加
- ・ 芸術観賞会・修学旅行

V 総務

1 職員の状況

<職員数（年度末）>

	医師 (常勤)	医師 (非常勤)	歯科医師 (常勤)	歯科医師 (非常勤)	薬剤師	診療放射線技師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	相談支援員
平成30年度	4	7	1	3	5	2	5	7	10	13	2	7
令和元年度	4	6	1	3	4	2	6	7	9	11	3	7
増減	0	-1	0	0	-1	0	1	0	-1	-2	1	0

	看護師	准看護師	ケアワーカー	生活支援員	管理栄養士	調理師(員)・調理事務	事務員	環境整備員	施設管理員	ホームヘルパー	託児所職員	合計
平成30年度	48	23	23	43	2	13	12	6	1	4	10	251
令和元年度	47	21	19	45	2	15	12	7	1	4	11	247
増減	-1	-2	-4	2	0	2	0	1	0	0	1	-4

※臨時職員を含む。生活支援員には、介護福祉士・社会福祉士・保育士の資格保有者を含む

2 職員研修

(1) 園内研修

研修名	テーマ	場所	期日	講師
園内研修	児童虐待の心理と背景 Q&A	若楠療育園	8/7	入江 春代 様 医療安全事故防止委員会
	施設における	若楠療育園	10/9	サラヤ様

	感染症対策			感染褥瘡対策委員会
新採用職員研修	OJT 研修	若楠療育園	4 月	園内職員

(2) 園内研究発表会

発表演題	発 表 者
マルチグローブの有効性検証	リハビリテーション課 和田 柚梨乃、柴藤 明香里
信頼関係の構築が難しい利用者に対する 支援の受け入れを目指した取り組み	地域支援課 末永 友理恵、大島 ひかり
ヒヤリハット付箋を活用した 現場におけるリスクマネジメント	第1生活棟 鳥飼 龍洋
モーターリフト社製リフトを使用した移乗介助 ～入園者の安全と職員の負担軽減を目指して～	第2生活棟 川崎 とし恵、手嶋 万里子
手遊びによる活動参加の向上	児童発達支援センター 高祖 瑠奈
「栄養課の取り組み～すいかゼリーとお好み焼き～」	栄養課 高原 愛

3 防犯防災管理

- (1) 毎月1回、職員の防災意識の向上、役割分担体制の把握、災害時の行動力を培うために、通報・初期消火・避難誘導の防災訓練、さらに災害時の朝食提供訓練も同時に行った。
- (2) 9月に、夜間非常時の職員の行動、緊急連絡網の稼働等訓練のために、今町・弥生が丘・柚比地区の方の参加協力のもと夜間防災訓練を行った。
- (3) 消防設備定期検査(年2回)、自主点検(随時)を実施。
- (4) 有事を想定しての様々な災害シミュレーション訓練の実施。
- (5) 継続して防犯対策を実施。

4 施設整備及び環境の整備状況

- ・児童発達支援センター園庭バルコニー改修工事 ・屋外喫煙室設置
- ・駐車場側溝据付工事 ・移乗リフト ・パラマウント電動ベッド
- ・AED小児キー付 ・栄養課プレハブ冷蔵庫
- ・診療報酬請求用ソフト・サーバー・パソコン一式
- ・診療報酬請求用ソフトオプション追加・パソコン一式
- ・Windows7サポート終了によるパソコン入替29台
- ・自動血球計数 CRP 測定装置

5 寄付

ご 芳 名	
嬉野 政則 様	J A佐賀県女性組織協議会 様
木下 稔晴 様	九州納豆組合 有限会社天野食品 様
ポアソン 様	株式会社 エクシス 様
日本鉄道構内営業中央会 様	若楠療育園 保護者の会 様

若楠児童発達支援センター

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠児童発達支援センターは、社会福祉法人若楠の基本理念のもと、身近な地域の障がい児支援の拠点施設として、障がいのあるなしにかかわらず様々な子ども達のニーズに合わせた支援に努めた。新たに産前産後子育て支援事業を行い、子どもの健やかな育ちと安心して子育てができる地域づくりに取り組んだ。

（1）地域の障がい児や家族への支援

若楠児童発達支援センター事業を通して、年齢・発達・特性などを考慮し、面談会やお迎えの際のご家族との情報交換等を密に行うことにより、利用児一人ひとりにあった支援に努めた。

（2）地域の障がい児を預かる施設への支援とネットワーク強化の推進

佐賀県障害児等療育支援事業や保育所等訪問事業等を通して、幼保育園・学校・施設等の要請に応じて、受入れ、出張対応を行った。また、県内の療育機関や自立支援協議会等のネットワーク会議にも積極的に参加し、連携の強化に努めた。

（3）障がい児・健常児の共生の場として（育児不安を含めた）の拠点施設の役割を果たす地域子育て拠点支援事業「どんぐりセンター若楠」は、利用者も増え、安定的な運営を図ることができた。

（4）地域の発達グレーゾーン児等の支援と家族・関連機関への具体的な支援の実施

どんぐりセンター若楠、佐賀県障害児等療育支援事業、若楠児童発達支援センターの各々の事業機能を効果的に活かし、療育や家族等の相談等を積極的に受け入れた。

（5）産前産後の相談支援等の実施

どんぐりこころ子育てサロンを毎月一回開催した。和やかな雰囲気の中で相談や質問に応え、継続的に参加する方が多かった。

II 利用者の状況（登録者）

1 年齢

＜どんぐりセンター若楠＞

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4歳以上	合計
男	43	33	18	11	22	127
女	52	33	21	26	22	154
合計	95	66	39	37	44	281

＜児童発達支援センター＞定員 31 名

年齢	3 歳未満	年少	年中	年長	合計
男	9	12	20	13	54
女	4	5	5	4	18
合計	13	17	25	17	72

＜放課後等デイサービス＞定員 10 名

年齢	1 年生	2 年生	3 年生	合計
男	9	7	10	26
女	2	0	2	4
合計	11	7	12	30

＜保育所等訪問支援＞

年齢	保育園	幼稚園	1～3 年	4～6 年	合計
男	1	1	4	3	9
女	0	0	2	0	2
合計	1	1	6	3	11

Ⅲ 事業の実施状況

1 子ども・子育て支援事業

(1) どんぐりセンター若楠

- ・年間を通して多くの利用者があり、地域の親子の居場所となっている。
- ・早期に職場復帰される母親が増え、0歳児、1歳児の利用の割合が高くなってきた。
- ・2月末より3月末日まで新型コロナウイルス感染防止のため、休園した。

＜月別利用状況＞（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	390	393	419	533	409	387	446	416	557	505	431	0	4,886
1日平均	19	20	20	23	23	19	20	20	28	25	24	0	22

(2) どんぐりこころ子育てサロン

- ・当初、定数を 10 組にしていたが参加者が多く 15 組前後に変更した。
 - ・参加者延べ人数は 285 名。リピーターが全体の 7 割を占めている。
 - ・毎回、橋本先生の講話やタッチケア、身近な育児相談などが参加者に好評だった。
- この他にクリスマス会では 100 名程の参加があった。

- ・質問しやすい座談会方式をとったことにより、和んだ雰囲気が些細な質問から専門的な質問まで尋ねやすく、先生方からのしっかりとした回答も喜ばれた。
- ・その他の参加で、保健センターの紹介など関係機関からの幅広い参加があった。
- ・サロンの様子を見て、祖母が母親に対してサロンへの参加を勧めるケースが出てきた。

＜参加者内訳 大人＞

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
妊婦	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	6
母親	10	14	12	10	15	14	12	13	10	10	0	120
父親	1	0	1	0	0	1	0	2	2	1	0	8
母子推進・学生・関係	2	5	0	4	2	1	3	6	1	1	0	25
合計	13	20	14	15	18	16	16	22	13	12	0	159

＜参加者内訳 子ども＞

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0～1ヶ月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
2～3ヶ月	2	3	1	0	2	3	2	3	2	1	0	19
4～5ヶ月	2	2	5	2	1	2	1	1	2	1	0	19
6～7ヶ月	1	1	2	5	6	2	0	2	0	3	0	22
8～9ヶ月	1	1	1	1	1	1	4	3	1	1	0	15
10～11ヶ月	2	2	1	0	0	0	0	1	1	2	0	9
12～13ヶ月	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	6
14～15ヶ月	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	5
16～17ヶ月	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
1歳半以上	2	3	4	2	3	4	4	3	1	0	0	26
合計	12	15	15	11	15	14	12	14	8	10	0	126

2 若楠児童発達支援センター

- ・就学前児童の療育希望はあったが、年度後半は、職員の配置状況により新規の契約を若干見合わせた。
- ・就学に関する学習会、発達と遊びの勉強会を実施した。
- ・保護者同士の交流機会の希望を受け、アンケートを実施。一定数の要望があったため、次年度茶話会を企画実施予定。
- ・職員の専門技術を高める為、事例検討や学習会などを実施した。

①児童発達支援センター

- ・就学前児童のニーズ増加傾向を受け、定員を4名増とした。
- ・親子療育クラス・小集団クラスで、欠席や祝日による休業日を同じ週の別日に振替え可能とすることで、出席率が安定した。
- ・療育参観を実施し、集団クラスでは昼食時のビデオ視聴と支援の目的の説明、療育体験と親子遊びに参加していただいた。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
平成30年度	72	243	4,714	19.4
令和元年度	73	241	4,893	20.3

②放課後等デイサービス

- ・ニーズに応じ定員を4名減としたが、利用の大きな落ち込みは見られなかった。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
平成30年度	31	239	1,835	7.7
令和元年度	30	234	1,710	7.3

③保育所等訪問支援

- ・予め、通所児童の欠席予定が入っている日等に訪問を調整して実施した。
新規受け入れも行った。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
平成30年度	11	70	79	1.1
令和元年度	11	60	70	1.2

若木園

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

地域に役立つ障害者支援施設を目指し、重い行動障害や自閉症スペクトラムの利用者への環境整備や専門的支援についての研修会をすすめて丁寧な支援をおこなった。施設の役割を活かし地域の障害者福祉ニーズ要請に応えるため、積極的に講師派遣や文化祭等参加依頼を受けていった。

介護福祉士・社会福祉士実習受け入れ指導者研修に3名を派遣し、質の高い実習と人材育成に繋がる組織体制を段階的につくっている。管理棟及び本館の施設設備も老朽化が著しくなっている。必要に応じ営繕をおこないながら利用者の生活環境の整備と働きやすい職場環境づくりをおこなった。

また各種委員会の内容を充実させ、より実践的な支援や危機管理、働きやすい職場環境につなげるため産業医の指導を受け実践している。

II 利用者の状況

1 年齢別・性別

（施設入所）

令和2年3月31日現在（名）

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計	平均年齢
男	0	2	16	13	6	0	4	41	43.7
女	0	4	4	9	4	3	4	28	47.8
合計	0	6	20	22	10	3	8	69	45.9

※最少年齢 25 歳 ※最高年齢 76 歳

2 障害支援区分

（名）

区分 性別	3	4	5	6	合計	平均区分
男性	0	1	8	32	41	5.8
女性	0	1	6	21	28	5.8
合計	0	2	14	55	69	5.8

III 事業の実施状況

1 入所支援・生活介護

- （1）高齢化、重度化にともなう運動機能の課題に対し、専門機関から評価を受け、利用者の生活支援の見直しを継続。
- （2）毎日が楽しい・生きがい・やりがいを感じられる支援を目指し、個別支援計画を作成。利用者のストレングスに着目した計画の実施。
- （3）体調の変化に対し、迅速な医療・家族・他施設との連携に着目した面談の継続。
- （4）ご家族に対し、利用者と家族が望む「生活の場」の意向を尊重し、他施設との連携についての説明を継続。

2 通所生活介護

- (1) 重度化・複雑化するニーズに対し、丁寧な対応の統一を図った。
- (2) 他事業所との情報共有と将来の生活像を見据えた地域連携のため、担当者会議やケース会議へ出席した。
- (3) 利用者の特性を理解し、豊かな生活を目的とした支援に取り組み、事例研究発表等で報告した。

3 放課後等デイサービス

- (1) 年々高まるニーズに対し療育に特化した事業展開を継続できている。
- (2) 障害種別ごとの研修へ参加し、専門知識・技術の向上を図った。
- (3) 他事業所、学校と連携し、会議を設けながら総合的な児童への成長発達支援に努めた。

IV 保健衛生

1 健康管理

- (1) 疾病の早期発見及び健康保持増進の為、年2回の健康診断を実施。なお、異常のある方へは、適宜二次検査、治療を実施。
- (2) 各分野の職員との連携にて体調異常の早期発見・早期治療・早期回復に努めた。
- (3) 嘱託医や外来看護師の協力を得て、症状に応じた医療対応を行い、健康管理に努めた。
- (4) 地域の医療機関との連携強化を図り、緊急時や専門医療の受診対応を図った。
- (5) 専門医療については、定期的な専門医の診察を受け、治療を行った。
- (6) 感染症の流行期をはじめ、日々の生活環境の清掃、手洗い、手指消毒等を適切に実施し、施設内感染の防止に努めた。また、感染予防委員会(定期・臨時)を開催し、適宜予防対策の検討を行った。
- (7) 入園者(保護者承諾のもと)、職員は感染や重症化防止の為、インフルエンザ予防接種を実施。また、施設内感染拡大防止の為にリレンザ吸入や出勤ルールマニュアルを作成して対応した。
- (8) 食事・運動療法については体重管理を行い、嘱託医の指示のもとで管理栄養士、支援員との連携で適切な支援を行った。
- (9) 各医療機関への通院者、入院者に対し、担当医師との情報交換を密にし、必要な処置を行い治療に努めた。
- (10) 保健衛生日誌への記録活用により、当日の健康状態など医務の情報共有と支援の連携を図った。
- (11) 保護者への健康管理情報の提供や健康相談を適宜実施することで、信頼関係を築くことに努めた。

2 健康診断等の実施状況(若楠療育園)

実施期間	内 容	実施者数
R1.5.8～ 5.31	健康診断(血液・尿・胸写・心電図・他計測等)	69 名
R1.10.29	健康診断(聴打診・血圧・体重・一部採血)	69 名

3 入園者の疾病状況（若楠療育園）

（延べ人数：名）

科 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
精神科	70	73	72	74	74	71	70	70	140	73	71	70	928
内 科	29	13	14	11	11	6	20	17	13	14	12	20	180
歯 科	21	17	28	37	24	29	23	30	20	17	17	9	272
皮膚科	2	5	1	4	4	3	7	0	5	0	0	2	33
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
リハビリ													
合計	122	108	115	126	113	109	120	117	178	105	101	101	1415

4 入園者の協力医療機関受診状況

（延べ人数：名）

医療機関名	受診状況	医療機関名	受診状況
鹿毛病院	22	原三信病院	4
岩岡整形外科	27	久留米大学病院	1
おか眼科	11	聖マリア病院	1
本間病院	12	肥前医療センター	8
ごんどう皮膚科	11	荒木眼科	2
駒井皮膚科	3	今村病院	35
せとじまクリニック	1	前原耳鼻科	4
くるめ病院	1	大石歯科	5

5 入園者の入退院状況

病院名	疾患名	期間
今村病院	肺炎 高アンモニア血症	平成31年 4月6日～令和1年 5月14日
佐賀大学医学部 附属病院	視神経脊髄炎	令和1年 10月11日～1年 11月14日
肥前精神医療センター	視神経脊髄炎	令和1年 11月14日～1年 12月16日
今村病院	両鼠径ヘルニア	令和1年 12月18日～1年 12月23日
肥前精神医療センター	精神状態悪化	令和2年 3月23日～入院中

6 保健の実施状況

実施事項	回数	対象	実施事項	回数	対象
検温	1日 2回	全員	皮膚科受診	週 1回	異常者
体重測定	月 1回	全員	歯科受診	週 3回	全員
	異常者随時		歯科受診	随時受診	異常者
血圧測定	年 4回	全員	整形外科受診	週 1回	異常者
	異常者随時		療育園以外の 医療機関受診	随時受診	異常者
身長測定	年 1回	全員			

7 感染症罹患状況報告

感染症	期間	罹患者数
インフルエンザA	平成31年1月17日～2月6日	計2名

V 食事班

1 実施状況

食事については、利用者個々のアセスメント表に基づき、栄養バランスのとれた献立を作成。多くの食材を使用し、見た目にも鮮やかに工夫した調理を行った。また、適切な時間に提供することができた。

栄養ケアマネジメントにより、看護師・支援員との連携を密にして、一人ひとりの栄養状態の把握はもとより、病態に合わせた食事や運動の取入れを実施することができた。

2 食事利用状況

月 食	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入園者	通所短期	入園者	通所短期	入園者	通所短期	入園者	通所短期	入園者	通所短期	入園者	通所短期	入園者	通所短期
朝食	1,800	35	1,799	30	1,796	33	1,898	34	1,836	38	1,836	30	1,907	29
昼食	1,804	356	1,798	358	1,780	314	1,892	352	1,825	312	1,829	324	1,903	328
夕食	1,782	43	1,790	32	1,774	33	1,883	35	1,803	42	1,835	30	1,895	29
小計	5,386	434	5,387	420	5,350	380	5,673	421	5,464	392	5,500	384	5,705	386
合計	5,820		5,807		5,730		6,094		5,856		5,884		6,091	

食	11月		12月		1月		2月		3月		合 計	
	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期入所
朝食	1,854	35	1,891	34	1,800	30	1,757	37	1,896	37	22,070	402
昼食	1,842	333	1,890	316	1,802	318	1,718	299	1,853	376	21,936	3,986
夕食	1,835	37	1,864	32	1,821	34	1,737	35	1,886	32	21,905	414
小計	5,531	405	5,645	382	5,423	382	5,212	371	5,635	445	65,911	4,802
合計	5,936		6,027		5,805		5,583		6,080		70,713	

常食入園者	53 名
きざみ食入園者	4 名
粗刻み食入園者	10 名
腎臓病食（減塩食）	1 名
腎臓病食（減塩・低蛋白食）	1 名
合計	69 名

VI 地域支援

1 生活介護事業利用実績（通所）

（1）年齢 (名)

性別 \ 年齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計	平均年齢
男	0	8	4	4	0	0	0	16	32.9
女	1	8	1	1	1	0	0	12	30.1
合計	0	16	5	5	1	0	0	28	31.7

※最少年齢 18 歳 ※最高年齢 55 歳

（2）障害支援区分 (名)

性別 \ 区分	3	4	5	6	合計	平均
男	0	2	6	8	16	5.4
女	0	2	5	5	12	5.3

（3）利用者数 (延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	329	339	299	344	278	300	323	310	311	292	267	323

合計 3,715 名
前年度比 -405 名

2 放課後デイサービス事業実績

(1) 年齢

(名)

性別 \ 年齢	小学生	中学生	高校生	合計	平均年齢
男	12	6	2	25	12.7
女	3	1	3	7	14.4
合計	15	7	5	32	13.5

(2) 利用者数 (延べ人数：名)

※4月より職員体制不足による一時休業解除

(前年度比 +427名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	62	85	88	98	59	82	90	83	70	80	71	63

合計 504名

3 短期入所事業実績

(1) 年齢

(名)

就学前	小学生	中学生	高校生	18～20歳
男 0	2	0	2	2
女 0	0	0	1	3
21～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男 12	6	2	0	26
女 6	5	1	0	16

(2) 障害支援区分

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	1	0	1	9	10	21
女	0	0	0	2	3	9	14
男(児)	0	1	3				4
女(児)	0	1	0				2

(3) 利用者数

(延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用	53	84	83	75	87	78	69	82	64	64	58	72	869

前年度比 -60

4 日中一時支援事業実績

(1) 年齢

(名)

就学前	小学生	中学生	高校生	18～20歳
男 0	5	1	1	2
女 0	0	1	0	1
21～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男 5	1	0	0	15
女 5	1	0	0	8

(2) 利用者数

(延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用	12	14	18	14	12	14	19	22	22	20	23	17	207

前年度比 -26

※適切かつ丁寧な対応を要する重度障害児・者の利用受け入れ数増加に伴い、総合的な利用数は減少となった。職員支援体制が整わず休業を余儀なくされることもあった。

Ⅶ 地域社会との交流

1 実習生

(名)

実習の種類	実習校	期間	人数
高等部現場実習	小郡特別支援学校 中原特別支援学校	令和元年5月27日～5月31日	1名
		令和元年11月5日	1名
		令和元年11月15日・19日	1名
中学部現場実習	中原特別支援学校	令和元年12月2日～12月6日	1名
看護実習	精華女子高等学校	令和元年7月31日	10名
介護福祉士	西九州大短期大学	令和元年8月5日～8月9日	2名
		令和元年8月19日～8月23日	2名
保育実習	佐賀女子短期大学	令和元年8月26日	3名
	香蘭女子短期大学	令和元年10月8日	13名

2 ボランティア

氏 名	内 容
山浦消防団 様	消防訓練・行事手伝い
平田 彰 様	ドッグセラピー
コールトリンス 様	コーラス

3 交流活動

- ・若木祭
- ・山浦地区敬老会
- ・麓地区夏祭り
- ・地域音楽教室
- ・鳥栖市障害者理解促進事業
- ・麓地区文化祭
- ・弥生が丘文化祭

Ⅷ 総務

1 職員状況

(名)

	施設長	児童発達支援責任者 サービス管理責任者	生活支援員	保育士	児童指導員	看護師	管理栄養士	調理師(員)	事務員	環境整備員	その他	合計
30年度	1	3	53	2	0	2	1	8	3	2	2	77
元年度	1	3	49	2	0	2	1	6	3	2	2	71

※臨時・短時間職員を含む。※生活支援員には、介護福祉士・社会福祉士等資格保有者を含む。

2 職員研修

(1) 内部研修

月	研修等名	内容	開催地	参加者
4	法人職員研修	新採研修	法人本部	天本英、小國、檜崎、竹中
	法人職員研修	1年経過者研修	法人本部	矢野、秋山、大塚、矢永、山口、濱崎、北野
	園内研修	新採研修 (OJT)	若木園	天本英、小國、檜崎、竹中
5	法人職員研修	新採研修	どんぐり村 (GW 期間中)	天本英、小國、檜崎、竹中
	園内研修	新採研修 (OJT)	若木園	上記新採職員
7	法人職員研修	主任等研修会	マリーゴールド (鳥栖市)	中山、遠藤、早田、平石、河上
	園内研修	新採職員 (OJT)	若木園	天本英、小國、檜崎、竹中
9	法人職員研修	課長等研修	マリーゴールド (鳥栖市)	中村リ、別府野下た

10	法人職員研修	働き方研修	法人本部	竹中、檜崎
11	法人職員研修	中間業績報告会	法人本部	片渕、中村リ、別府、野下た
2	園内研修	事例研究発表会	若木園	支援員
3	法人職員研修	事業計画説明会	マリーゴールド (鳥栖市)	片渕、中村リ、野下た、別府

(2) 外部研修

月	研 修 名	会 場	参加者
4	第一回施設長会	佐賀市	片渕
5	西日本食品産業創造展	福岡市	河上
	病院施設向け展示会 2019	神埼市	河上
	ミュージックケア指導者研修	田川市	山鹿
6	ユニバーサルマナー検定	佐賀市	片渕、別府
	第一回九州大会実行委員会	佐賀市	別府
	令和元年度全国安全週間説明会	鳥栖市	片渕
	令和元年度介護実習連絡協議会	佐賀市	片渕
	第一回研修会	佐賀市	河上
	ミュージックケア指導者研修	田川市	山鹿
	第4回行動障害支援ネットワーク勉強会	佐賀市	松本
7	強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	佐賀市	矢野、天本英
	全国知的障害関係施設長等会議	神奈川県	片渕

	ケアテックス福岡 2019	福岡市	片渕、宮原、田中み、 河上、佐々木、宮ノ前
	産業保健研修会	鳥栖市	野下た
	第二回施設長会	佐賀市	片渕
8	産業保健研修会	佐賀市	島崎
	特定給食施設担当者研修会	鳥栖市	河上
	定期報告書説明会	佐賀市	岩永
	九州地区知的障害関係施設長等研究大会	熊本県	片渕、野下た
9	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	佐賀市	的野、北野、竹中、 大島、大塚、末永
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	早田
	産業保健研修会	佐賀市	宮原
	協和商工「秋の総合展示会」	佐賀市	河上
10	食品衛生責任者実務講習会	鳥栖市	河上、松本
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	早田
	保健衛生部会研修会	佐賀市	矢永
10	全国知的障害福祉関係職員研究大会	鹿児島県	別府
	相談支援従事者現任者研修	佐賀市	中村り、堤
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	早田
	相談支援従事者現任者研修	佐賀市	中村り、堤
	社会福祉士実習指導者講習会	福岡県	松本
11	介護福祉士実習指導者講習会	佐賀市	堤、中山
	第三回施設長会	佐賀市	片渕
	第二回指導部会研修会	佐賀市	片渕
	佐賀県知的障害者福祉協会給食部門研修会	佐賀市	河上
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	早田
12	佐賀中部福祉事業所情報交換会	佐賀市	片渕
	日中活動支援部会全国大会	北海道	中村まゆ
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	早田
1	新年情報交換会	佐賀市	片渕、遠藤、平石
	九州地区知的障害者福祉協会種別部会、合同研修会	沖縄県	田中み、坂口、矢野
2	第四回ジャピタルフーズフェア	熊本県	河上
	ぷれしやすセミナー	鳥栖市	奥村

3 視察・見学等の受入れ

月	団 体 名
10 月	行動障害支援ネットワーク
11 月	一麦寮
11 月	いぶき村

4 防災管理

毎月 1 回の防災訓練を様々な想定で実施している。

今年度も、初期消火に力を入れての取り組みを行った。一斉メールでの緊急連絡方法も確立が出来ており地域・地元消防団との合同の防災訓練も実施する。

防火管理委員会（年 4 回）では、火災対策の他に自然災害等のリスクに備え意見交換や園内での対策方法の協議を行っている。

令和元年度も、東館二階（女子棟）の避難訓練を重視し、消火手順、避難経路、応援体制の確認を行った。

5 施設整備及び環境の整備状況

（1）施設整備

- ・正面玄関周辺伐採
- ・本館男子棟浴室シート張替え
- ・ファミリー館エアコン取り換え
- ・厨房洗い場エアコン取付

（2）備品等整備

- ・軽トラック購入
- ・ハイエース入替
- ・マイクロバス処分

6 寄付

ご 芳 名
若木園保護者会 様
佐賀県共同募金会 様

青葉園

I 運営概要

若楠の基本理念のもと、青葉園、青葉ホームともに利用者、家族、地域から信頼される事業活動に取り組んだ。

青葉園ではユニットケアを実施し、家庭的な雰囲気のもときめ細やかな支援を心がけた。また、職種間が連携を図ることで、利用者の生活支援、医療・介護ケアの充実に努めた。

青葉ホームは利用者が地域で安心、安全な生活を送っていただけるように、生活支援、事業所及び相談支援事業所との連携、交通事故、防犯に対する個別支援に取り組んだ。

新型コロナウイルス対策として、利用者、職員の健康チェック、面会および外泊の自粛等を行い感染予防に努めた。

II 利用者の状況（入所）

1 年齢

令和2年3月31日現在（名）

年齢	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合計	平均年齢
男	0	1	9	25	9	16	20	80	54 歳
女	0	0	5	9	5	16	14	49	58 歳

2 障害支援区分

（名）

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	20	33	26	80
女	0	0	1	8	13	27	49

III 事業の実施状況

青葉園

1 生産型

（1）クリーニング班

グリーンファーム山浦からの業務受託

（2）業務受託班

若楠療育園の清掃、利用者の車椅子清掃

若楠療育園のおしぼり洗濯、若楠療育園玄関マット清掃

（3）陶磁器

陶芸教室・絵付け教室の開催

（4）くすの樹

授産品販売を行い、地域交流や法人内施設の情報発信

ワークショップ（年5回開催）

（5）軽作業

袋に持ち手をつける内職、アルミ缶リサイクル、箱作り

2 活動型

（1）散歩、体操、ドライブ、誕生会、目的別外出等

（2）アートクラブ、ダンスクラブ

（3）個別活動

（4）1日旅行

3 全体行事

- (1) 青葉祭（9月）、若楠感謝祭（11月）、クリスマス会（12月）

4 青葉ホーム

- (1) 弥生が丘東区の美化活動（年2回）、イベントへの参加
(2) 青葉ホーム山浦は班長会へ参加、地区の行事に参加
(3) 環境整備として年2回、各ホームの除草作業等を行う
(4) ボランティアによるリラックス体操（月2回）

5 地域交流

- (1) 「第24回 若楠感謝祭」を開催
(2) 弥生が丘夏祭りへの参加
(3) 弥生が丘運動会への参加
(4) 弥生が丘東区除草作業への参加（春・秋、年2回）
(5) 弥生が丘まちづくり推進協議会への協力

IV 生産型活動における生産品等、販売実績

1 販売実績

（円）／年間

	クリーニング	業務受託	軽作業（陶芸）	くすの樹	合計
売 上	3,000,000	9,293,159	793,738	3,380,651	16,467,548

2 工賃の支給

（円）／年間

生産型	活動型	合計額
3,364,533	1,358,136	4,722,669

V 医務

1 健康管理

- (1) 健康保持のため、年2回の健康診断を実施し、健康診断の結果は家族に報告するとともに、必要な検査については家族と相談し対応した。
- (2) 慢性疾患、痙攣のある利用者に対し嘱託医と連携を密にし、定期受診、状態観察に努め報告と適切な対応、処置をおこなった。
- (3) 医療機関への通院者、入院者に対し担当医師と情報交換を密にし、必要な処置を行い治療に努めた。定期受診者、異常者受診時の投薬、処置を医務室にて実施。
- (4) インフルエンザ予防対策は保護者・利用者・職員の説明と了解を得て、予防接種を実施。
- (5) 感染予防対策として健康状態の把握と共に、清潔、換気に留意し、作業棟、就寝時のうがいの励行を実施。手指の清潔保持のため、手洗いの励行を行い、職員がアルコール消毒液を携帯し使用した。ノロウイルス・インフルエンザ等感染対策マニュアルの作成を行い、職員への情報提供に努めた。感染時には隔離を行う等、初期の対応を迅速におこなった。
- (6) 高齢者、虚弱者の疾病の予防に努めると共に、成人病、肥満の予防及び対策として栄養課と協力体制をはかり、食事の工夫に努めた。

2 健康診断、予防接種の実施状況

実施月	内容
4 月、5 月、6 月	利用者健康診断
10 月、11 月	利用者健康診断
10 月、11 月	インフルエンザ 予防接種

* 風疹予防接種～8 名

3 利用者の入院状況

医療機関名	期間
やよいがおか鹿毛病院	平成 31 年 4 月 19 日 ～ 令和元年 8 月 6 日 令和元年 12 月 15 日 ～ 令和 2 年 2 月 28 日 令和 2 年 1 月 10 日 ～ 令和 2 年 2 月 6 日 令和 2 年 1 月 11 日 ～ 令和 2 年 1 月 25 日 令和 2 年 1 月 16 日 ～ 令和 2 年 1 月 25 日 令和 2 年 1 月 27 日 ～ 令和 2 年 2 月 4 日 令和 2 年 2 月 8 日 ～ 令和 2 年 2 月 28 日 令和 2 年 3 月 16 日 ～ 令和 2 年 3 月 21 日 令和 2 年 3 月 30 日 ～ 令和 2 年 4 月 13 日
聖マリア病院	令和 2 年 2 月 12 日 ～ 令和 2 年 3 月 6 日
今村病院	令和元年 7 月 13 日 ～ 令和元年 7 月 23 日 令和元年 8 月 20 日 ～ 令和元年 9 月 4 日
久留米大学病院	令和元年 9 月 17 日 ～ 令和元年 9 月 19 日
肥前精神医療センター	令和元年 12 月 20 日 ～ 令和 2 年 2 月 27 日
大島病院	令和元年 11 月 11 日 ～

4 利用者の受診状況

(件)

医療機関	受診数	医療機関	受診数
若楠療育園	2,421	肥前精神医療センター	29
若楠療育園歯科	1,068	いぬお病院	10
やよいがおか鹿毛院	153	大島病院	32
聖マリア病院	6	ごんどう皮膚科	19
岡眼科	105	永田皮膚科	14
中州医院	1	廣松皮膚科	3
久留米大学病院	14	梅野耳鼻科	14
前山内科	3	合 計	3,892

5 感染症状況

インフルエンザ	令和元年 12 月 28 日～令和 2 年 1 月 13 日	利用者 (14 名) 職員 (1 名)
---------	--------------------------------	------------------------

Ⅵ リハビリテーション

1 実施状況

- (1) 個別リハビリテーションを対象者40名で定期的の実施し、利用者の能力維持を促すことが出来た。
- (2) ユニット単位で集団療法の実施を月2回おこない、体操・スポーツ・レクリエーション・制作活動をすることができた。
- (3) リハビリテーション診察後の身体障害者手帳の申請、補助制度を使用した車いすや装具等の購入の対応し、利用者に合ったものを提供おこなった。

Ⅶ 栄養課

1 給食状況

- (1) 身体状況や喫食状況を考慮し、グリーンファーム山浦やどんぐり村の新鮮な野菜等を積極的に使用した献立を作成し、安心・安全な食事提供に努めた。
- (2) 温かい物は温かく、冷たい物は冷たくを心がけ、直前配膳等おこなった。
- (3) 体調不良や咀嚼不良の時は別メニュー、別形態にて個別対応もおこなった。
- (4) 季節毎の行事食を取り入れ、利用者の方々に楽しみにしていただいた。
- (5) 利用者に適した食事を提供するため、生活支援員・看護師と連携をおこなった。

2 食事利用状況

(食)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所
朝食	3641	58	3719	54	3682	59	3848	63	3694	62	3696	59	3841	61
昼食	3442	377	3453	347	3461	358	3581	377	3486	315	3504	355	3594	368
夕食	3640	60	3729	54	3689	59	3856	63	3640	61	3711	60	3851	62
小計	10723	495	10901	455	10832	476	11285	503	10820	438	10911	474	11286	491
合計	11218		11356		11308		11788		11258		11385		11777	
	11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園		通所	
朝食	3731	32	3747	30	3657	29	3444	63	3769	63	44469		633	
昼食	3566	331	3434	314	3814	322	3293	344	3612	385	42240		4193	
夕食	3712	32	3695	29	3702	30	3460	62	3774	63	44459		635	
小計	11009	395	10876	373	11173	381	10197	469	11155	511	131168		5461	
合計	11404		11249		11554		10666		11666		136629			

VIII 総務課

1 職員状況

令和2年3月31日現在（名）

	園長	サービス管理責任者	事務員	生活支援員	看護師	作業療法士	管理栄養士	調理師等	世話人	夜勤専従（ホーム）	医師（嘱託）	合計
H30 年度	1	6 ※GH2	8	87	3	0	2 ※兼務1	13	11	17	1	149
R 元年度	1	6 ※GH2	8	85	3	1	2 ※兼務1	14	10	17	1	148
増 減	0	0	0	-2	0	+1	0	+1	-1	0	0	-1

※契約職員・短時間勤務職員含む

2 職員研修

月	研 修 会 等 名 称	開催地	参 加 者
6	生活リハビリ研修	福岡市	常井
	効果的に仕事の効果を生み出す業務改善研修	佐賀市	長瀬
	支援につなげる記録の書き方研修	佐賀市	溝田
	軽減税率に関する研修会	佐賀市	宮崎
7	社会福祉法人主任/係長研修	大阪府	執行
	強度行動障がい支援者養成研修	佐賀市	長瀬・武田・東島・大野・塩月
	全国知的障害関係施設長等会議	横浜市	前田
	倫理人権部会研修会	佐賀市	淋・後藤・山田
	職場でへこたれないメンタルヘルストレーニング	福岡市	田中
	社会福祉法人における会計基礎知識研修	佐賀市	長尾
8	精神疾患の理解と対応研修	佐賀市	山田
9	九州地区知的障害関係施設長研究大会	熊本市	長瀬
	佐賀県サービス管理責任者等研修更新研修	小城市	田熊・片山・串尾
	新任職員フォローアップ研修	佐賀市	濱地・村上・西田・松田（杏）
	指導的職員研修	佐賀市	富永
10	全国知的障害福祉関係者職員研究大会	鹿児島市	松延・永尾
	非常災害時の備蓄食の管理と活用法研修	佐賀市	天本
11	強度行動障害支援者養成研修	鳥栖市	姉川・石田・香月・松本
	人材育成指導力向上研修	佐賀市	本村・大鶴
	給食部会研修会	佐賀市	増永・江頭
12	佐賀県虐待防止・権利擁護研修	佐賀市	徳永

1	九州地区知的障害者福祉協会種別部会・合同研修会	那 覇 市	長尾・片山
	権利擁護と虐待防止研修	佐 賀 市	武田
2	介護に活かす身体や道具の使い方	神 埼 市	姉川・溝田
	佐賀県サービス管理責任者等研修更新研修	佐 賀 市	前田・長尾・執行・牧

3 視察等の受入 (名)

月	内 容	人数	月	内 容	人数
5	鳥栖市民生委員児童委員連絡協議会	20	10	福岡県立太宰府特別支援学校	26
5	糸島市桜野校区社会福祉協議会	20	11	佐賀県立中原特別支援学校鳥栖田代分校小学部	10
5	鳥栖廿日会	20	11	NPO 法人 earth color	2
6	みやき町民生委員児童委員協議会	23			

4 防災・防犯管理

青葉園

- (1) 定期的な防火避難訓練を実施（毎月1回）
- (2) 弥生が丘・今町・柚比町地区の方の参加のもと夜間防火訓練を実施（9月）
- (3) 受付にて記名、名札を来園者につけていただく

青葉ホーム

- (1) 防火避難訓練を実施（年4回）

5 施設整備および環境の整備状況

(1) 備品等の整備

デスクトップパソコン（3台） ノートパソコン（14台）
 栄養管理システム（更新） ほのぼのシステム（2台）
 複合機（更新） 自火報感知器増設（GH山浦）

6 寄付・寄贈

ご 芳 名
青葉園・グリーンファーム山浦・青葉ホームの利用者を支える会「みつば」様
佐賀県共同募金会 様
江口 洋子 様
江口 高義 様
中村 忠子 様
池田 マキ 様
森 良子 様

IX 障害福祉サービス事業及びその他社会福祉事業の実施状況

1 短期入所

(1) 利用者数・利用日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	1	1	2	2	3	2	2	2	2	1	4	2	24 名
延べ利用日数	30	30	32	35	37	32	35	34	32	29	38	33	397 日

2 日中一時支援

(1) 利用者数・利用日数

本年度利用無し

3 青葉ホームの状況（青葉ホーム山浦・青葉ホーム弥生が丘Ⅰ・弥生が丘Ⅱ・弥生が丘Ⅲ）

(1) 障害支援区分

（令和2年3月31日現在）（名）

場所	区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
山浦		2	0	1	4	1	0	0	8
弥生が丘Ⅰ		0	0	2	1	6	1	0	10
弥生が丘Ⅱ		1	0	3	4	4	0	0	12
弥生が丘Ⅲ		2	0	1	3	6	1	0	13
合計		5	0	7	12	17	2	0	43

(2) 日中活動状況

（令和2年3月31日現在）（名）

場所	種別	生活介護事業所利用	就労継続B型・就労移行支援事業所利用	就労継続A型事業所利用	一般就労	その他	合計
山浦		0	6	1	1	0	8
弥生が丘Ⅰ		1	5	2	2	0	10
弥生が丘Ⅱ		3	6	1	2	0	12
弥生が丘Ⅲ		4	6	1	2	0	13
合計		8	23	5	7	0	43

X 地域社会との交流

1 特別支援学校等実習受入状況

(1) 中原特別支援学校（高等部）

（名）

期 間	人 数
令和元年 11月5日 ～ 令和元年 11月15日	1

2 介護等実習の受入状況

(1) 九州医療専門学校

(名)

期 間	人 数
令和元年 9月17日 ～ 令和元年 10月24日	1

(2) 西九州大学

(名)

期 間	人 数
令和元年 8月16日 ～ 令和元年 9月16日	2
令和2年 2月 3日 ～ 令和2年 2月14日	2

3 ボランティア活動状況

ボランティア名	内容	実施状況
今町消防団 様 佐賀銀行 様 九電工 様 西九州大 様 緑生館 様 龍谷短期大学 様	若楠感謝祭での販売、準備	年1回
鳥栖商業高等学校吹奏学部様 鳥栖どんきやん隊 様 西九州大学ESRD 様 三井高等学校 様	青葉祭イベント参加・販売準備	年1回
古澤 和美 様 執行 チヨ子 様	リラックス体操	月2回
豊増 保夫 様	絵画クラブ	年24回
篠原 正子 様	クリーニング作業	週1回
古庄 真 様	利用者との食事会開催	年3回
松隈 真由美 様	リズムダンス	年18回

もしもしネット

I 障害者就業・生活支援センター事業の実施

職業生活において自立を図るため、就業及びこれに伴う日常生活、または、社会生活上の支援を必要とする障害者に対して関係機関との連携を図りつつ、障害者及び事業主等に必要な助言や支援を行い、雇用の促進及び職業の安定を図った。

1 令和元年度障害者就業・生活支援センター事業実施状況

(1) 障害種別・就業状況別の支援対象障害者（登録者）数 (名)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		うち重度		うち重度			
在職中	27	7	165	37	85	5	282
求職中	12	1	31	6	52	4	99
その他	0	0	7	0	0	0	7
合計	39	8	203	43	137	9	388
H30 年度	53	12	233	46	153	10	449

(2) 支援対象障害者に対する相談・支援件数（手段別） (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所（本人・ほか家族等含む）	25	118	44	2	189
電話・メール相談（本人・家族のほか関係機関等の電話も含む）	105	1,216	694	20	2,035
職場訪問（定着支援ほか、職場実習支援含む）	71	640	325	13	1,049
家庭・入所施設への訪問	3	64	11	0	78
その他（ハローワーク同行訪問、各種手続き、病院受診同行、ケース会議他）	31	152	153	13	349
合 計	235	2,190	1,227	48	3,700
H30 年度	346	2,318	1,234	35	3,933

※集計ソフト内の集計方法が今年度より変更

(3) 事業所に対する相談・支援割合（内容別）

雇入れに関する相談・支援	266 件
雇用する障害者の職場適応・職場実習に関する相談・支援	754 件
雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	611 件
障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0 件
その他	16 件
合 計	1,647 件
H30 度	2,043 件

(4) 職場実習のあっせん件数

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
R1	1	12	8	0	22
H30	1	26	11	0	38

(5) 就職件数及び就労支援継続A型事業所への就職件数

<一般就労>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
R1	2	30	15	2	49
H30	5	31	22	0	58

<就労継続支援A型>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
R1	1	5	3	0	9
H30	1	6	15	0	22

(6) 職場定着率（％）・・・1年経過時点

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	平均
R1	100	80.7	68.2	0	77.6
H30	90	97	58	0	69

II 研修等の受講

- 1 発達協会実践支援セミナー「愛着障害への理解を含む家族支援講座」7.28-29 (於：有明・権藤)
- 2 発達協会実践支援セミナー「発達障害・知的障害の思春期・青年期」8.7-8 (於：有明・小川)
- 3 日精診チーム医療・地域リハ研修会 九州大会 (於：福岡・小川)
- 4 発達協会実践支援セミナー「愛着形成・トラウマ・双極性障害への理解と対応」10.20 (於：有明・杉原)
- 5 第27回職業リハビリテーション研究・実践発表会 11.18-19 (於：有明・権藤)
- 6 障害者就業・生活支援センター ブロック勉強会 11.29 (於：長崎市・権藤)
- 7 日本こころの安全とケア学会 第二回学術集会・総会 12.14-15 (於：鳥栖・権藤)
- 8 就労支援フォーラム NIPPON 12.14-15 (於：東京・小川)

- 9 全国就労支援ネットワーク 全国フォーラム 1.31-2.1 (於：千葉・権藤)
10 明治安田生命セミナー 1.18-19 (於：東京・小川)

【もしもしネット勉強会】

「地域精神科医療」について

在宅（ひきこもり等）における求職者の状況と就労支援ニーズについて

プラスワン訪問看護ステーション所長より

(於：もしもしネット相談室・全員)

Ⅲ その他

1 関係機関との連絡会議の開催

令和元年6月14日 サンメッセ鳥栖

参加機関：佐賀県就労支援室・ハローワーク鳥栖・佐賀障害者職業センター
移行支援事業所（定着支援サービス）・生活自立センター
総合相談窓口（計20名）

議題：生活困窮者支援における現状報告と課題

- ・定着支援サービスについて・意見交換
- ・発達障害者のアセスメントについて

令和元9月20日 サンメッセ鳥栖

参加機関：佐賀県就労支援室・ハローワーク鳥栖・障害者職業センター
県内特別支援学校・生活自立センター・総合相談窓口
移行支援事業所・東部地区B型 生活自立訓練施設（計28名）

議題：発達障害者の就労支援について

- ・もしもしネット 事業実績報告
- ・発達障害者のアセスメントについて（講話・実践）

障害者職業センター 林田氏

- ・意見交換 他

2 在職者交流会の実施

円滑な就業生活と職場定着を目的とし余暇活動の一環とした交流会の開催（年4回）

- ・6月1日

携帯電話のルールとマナー・ラインのやり取りについて（於：久留米 荒天中止）

- ・9月8日

携帯電話のルールとマナー・ラインのやり取りについて（於：どんぐり村 40名）

- ・12月1日

自立を見据えた生活指導フードコーディネーターによる栄養講話 調理実習

（於：弥生が丘まちづくりセンター 29名）

・3月22日

お金について 金銭管理やルールやマナーについてグループワーク

リラクゼーション（グリーン教室）（於：グリーンファーム山浦

コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

IV 総括

令和元年度は1名欠員が続く中、新規登録53名（身体6名・知的15名・精神30名・その他2名）、就職支援のべ46名、退職等対応のべ29名の他、普通学校の対応、生活困窮者支援、医療との連携、家族・生活支援等限られたマンパワーで可能な限り対応した。新規登録において精神障害者の登録が圧倒的に多く、またそれぞれの背景に発達障害の二次的要因や愛着の問題等、支援をするにあたり関係を構築するためにも年単位で時間を要するケースもあり、年々障害のみならずその背景にある多様さやニーズに難しさを感じることも多くあった。職場定着率では昨年度平均86%に対し、今年度78%と下降したことにおいて精神障害者では10%以上の伸びがあったが、知的障害者の15%下降したことが影響している。国の政策や労働局の方針としては、増加の一途である精神障害者が支援の重点項目と掲げてあるが、当センターとして元年度の状況を踏まえ、比較的安定している方も含め知的障害者に対しても職場訪問頻度や面談などの支援体制の再検討が必要と感じた。さらに来年度はコロナウイルスの影響でのメンタル不調者や雇用状況の変化における離職者、求職者の増加、生活困窮者等イレギュラーな対応やニーズが予想されるため、各関係機関とも連携を図り支援の充実を図りたい。また、法人内にある東部圏域唯一の就労移行支援事業所（グリーンファーム山浦）とも連携を図り、同行支援や勉強会などを通し相互に支援力を強化することで、法人の看板としての付加価値や強みとなり地域の信頼、貢献につながることを目指したい。

どんぐり村

I 運営概要

令和1年度は、花苗事業、農園事業の充実を図りながら、利用者の就労支援拡大と工賃アップに努めた。特に、花苗事業については、地道な活動の結果、佐賀市より事業受注を増やしていただくなど、地域とのつながりも深くなってきている。

観光事業については、事業整理や休園日を増やすなど効率の良い運営を目指しながら、来場していただいた方に、楽しい時間を提供していけるように努めた。利用者についても接客を行うことや地域とのつながりが多くなったことにより、働くことへのやりがいにつながっている。

II 利用者の状況

1 年齢分布図 (名)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～以上	合計
男	0	5	9	4	4	2	5	1	5	35
女	0	4	3	5	1	1	0	1	4	19
計	0	9	16	9	6	3	5	2	9	54

※最年少者 20 歳 最年長者 68 歳 男性平均 37 歳 女性平均 37 歳 総平均 37 歳

2 事業別利用契約者数

就労継続支援事業B型 54 名（男性 35 名、女性 19 名）

3 市町村別利用者数（受給者証発行市町村） (名)

	佐賀市	鳥栖市	神埼市	みやき町	小城市	多久市	白石町	吉野ヶ里町	合計
男	20	2	7	2	1	2	1	0	35
女	8	0	3	1	2	5	0	0	19
計	26	2	10	3	3	7	1	0	54

4 手帳の所有状況（療育・身体障害者・精神保健福祉手帳） (名)

	男	女	合計
療育手帳	33	19	52
身体障害者手帳	1	1	2
精神保健福祉手帳	2	0	2
合 計	36	20	56

※複数所有者含む

III 事業の実施状況

1 就労継続支援事業B型（定員 40 名）

（1）サービス部門（物販、パン工房、体験工房、飲食サービス）

飲食サービスでは、バーベキューと軽食メニューの提供を同じレストランで行い、営業の効率化を図った。また、花苗やほうれん草の生産増にともない、物販での販売を少しずつ行いながら、花や野菜づくりを中心としたどんぐり村という方向性に結び付けながら運営を行った。

(2) 牧場部門（農園芸、環境整備、動物飼育）

農園芸班については、佐賀市の緑化推進事業（花苗配布事業）を実施し、予定の6万本を納めることができた。また、ほうれん草の生産については、試行錯誤を繰り返しながら、継続して生産していく取組みを行った。動物飼育班については、乗馬、動物とのふれあいを通して、動物への理解、命の大切さを伝える活動を行った。

(3) 福祉部門（軽作業班）

利用者の高齢化や重度化が進む中、「楽しく作業を行う」をテーマに、手作りの装飾品や遊具の製作などを行った。実際に来場者の方たちが手に取ることも多くなり、製作者の意欲向上につながっている。

(4) 行事の開催

社会性を養いながら地域の一員として、自立を促すという側面から、風船バレー大会や地域行事への参加などを行った。また、一日旅行や食事会を実施し、利用者同士のチームワークを育む活動を行った。

2 就労支援部門実績

(1) 入場者数実績

(名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
8,254	17,680	4,434	3,236	4,864	6,719	14,158
11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
11,055	2,319	2,641	3,999	5,244	84,603	

(2) 売上実績

(千円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
10,862	24,725	6,911	6,473	8,749	8,994	17,067
11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
13,394	5,540	4,209	5,557	6,457	119,221	

3 工賃支給実績

就労継続支援B型					
月	支給人数（人）	支給額（円）	月	支給人数（人）	支給額（円）
4	54	1,380,750	10	53	1,412,250
5	54	1,444,050	11	54	1,349,850
6	54	1,353,300	12	51	1,330,000
7	54	1,418,400	1	50	1,282,800
8	53	1,224,550	2	53	1,280,850
9	54	1,332,050	3	53	1,431,750
合計支給人数（人）		637	合計支給額（円）		16,240,600

※就労継続B型支援事業 平均工賃 25,495 円

VI 地域社会との交流

1 実習

特別支援学校や地元中学校の就業体験等を積極的に受入れ、地域の教育機関との連携を図りながら、人間形成の一翼を担う社会資源としての役割を果たした。また、佐賀調理製菓専門学校インターンシップを新たに受入れ、産業資源としての機能を果たす取り組みも行った。

(1) 特別支援学校職場体験実習

期 間	作業部門	人 数
大和特別支援学校（高等部） 6月13日～ 6月14日	全部署	5名
大和特別支援学校（高等部） 9月19日～ 9月25日	全部署	4名
大和特別支援学校（高等部） 10月28日～ 11月15日	全部署	4名

(2) その他

期 間	作業部門	人 数
松梅中学校 7月31日～ 8月 2日	動物	1名
大和中学校 8月21日～ 8月22日	動物・パン他	6名
佐賀調理製菓専門学校 9月 1日～ 10月31日	パン工房	4名
佐賀農業高校 10月15日～ 10月18日	軽作業・パン他	3名
佐賀県教育センターしいの木 11月21日～ 11月22日	動物・パン	4名
高志館高校 12月10日～ 12月13日	農園・動物	4名

2 地域交流

佐賀県の福祉、観光、産業の中心として、地域との交流も積極的に行った。特に、花苗事業の推進により、三瀬村から花植えの要望なども増え、地域の方と共に作業を行う機会も増えてきた。

期 間	場 所
三瀬温泉入口花壇花植え作業 5月17日・5月24日	三瀬やまびこの湯入口
三瀬公民館花壇花植え作業 7月27日・7月29日	三瀬公民館
第3回三瀬高原音楽祭 10月12日～ 10月14日	森のコンサートホール
第2回ふれあい芸術祭 10月13日	どんぐり村光の広場
三瀬田舎と都市のふれあい祭り 10月26日～ 10月27日	三瀬小学校
若楠感謝祭 11月23日	弥生が丘八ツ並公園
きらめきフェスタ 10月27日	鍋島中学校
三瀬公民館花壇花植え作業 11月11日～ 11月15日	三瀬公民館
ふれあいフェスタ 1月18日～ 1月19日	佐賀大和イオン

V 総務

1 職員状況

(名)

	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	事務員	販売員・環境整備員	合計
1 年度	1	1	1	1	26	2	3	35
30 年度	1	1	1	1	26	2	3	35

2 職員研修

研修名	場所	期日	参加者
法人一年経過者研修	若楠療育園	4 月 2 7 日	森本
リスクマネジメント研修	佐賀市	5 月 2 1 日	小笹
発達障がいへの理解研修	佐賀市	6 月 1 9 日	原口
軽減税率説明会	佐賀市	6 月 2 8 日	高柳
中堅職員研修会	佐賀市	7 月 8 日	根北
法人主任研修	鳥栖市	7 月 1 2 日	黒木
会計基礎知識研修	佐賀市	7 月 2 4 日	森本
精神疾患理解と対応研修	佐賀市	8 月 2 0 日	山口
法人課長等研修	鳥栖市	9 月 6 日	中村
新任職員フォローアップ研修	佐賀市	9 月 1 8 日	森本
九州社会就労センター研究会	宮崎市	1 0 月 3 1 日～1 1 月 1 日	生野 貞包
人材育成指導力向上研修	佐賀市	1 1 月 2 8 日	中村
会計基礎知識研修	佐賀市	1 2 月 9 日	木村
権利擁護と虐待防止研修	佐賀市	1 月 8 日	小笹 倉谷 佐保
社会就労センター協研修	福岡市	2 月 1 3 日	高柳 江頭

3 防災・安全管理

食品や動物に関わる作業、山間地での作業など衛生管理、安全管理を徹底して行う必要がある部門が多いため、法令に従いながら確実な管理に努めた。特に、利用者の怪我、車両の事故については、職員の意識向上を図りながら、大きな事故につながらないように努めた。

4 施設整備及び環境の整備状況

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ① 外部ベンチ、テーブル等腐朽部改修工事 | ② どんぐり村水災害復旧工事 |
| ③ 消防設備不良改修工事 | ④ ソフトクリーム販売所天井工事 |
| ⑤ 花苗ハウス造成工事 | ⑥ 花苗ハウス増設工事 |
| ⑦ レストラン棟自家発電機修理工事 | ⑧ 空調設備取付工事（レストラン等） |

グリーンファーム山浦

I 運営の概要

若楠の基本理念「入園者中心主義」「開かれた施設」「若楠ファミリー」を念頭に置き、利用者が楽しく働ける場所、一般就労に向けて訓練を行う場所を提供することができた。また、地域に密着した事業所として「梅まつり」「ほんげんぎょう」「子ども体験教室」「地域の居場所カフェ」等のイベントを開催し、地域との交流を一層深めることができた。

1 活動の状況

事業本来の役割（就労支援・工賃向上）を重視し、個々の能力を発揮できる支援を行うと共に、明るく楽しい職場づくりに力を入れた。

- (1) 部署間で協力体制の充実を図りながら、業務内容や生産品の品質向上及び就労支援会計の安定を目指した。
- (2) 行政、特別支援学校、もしもしネット、キャッチ等関係機関との連携を強化し、利用者の生活面における様々な課題にも取り組み、手厚い就労支援を行った。
- (3) 昨年度開設した就労定着支援では、もしもしネットや企業と連携しながら支援体制を整備しサービスの充実を図ることで、利用者の新規獲得にも繋がった。
- (4) 保護者との情報交換を密にし、信頼関係を更に深めることができた。
- (5) 利用者アンケートを実施し要望を参考にしながら、自主生産の食材を多く取り入れ、定期的にお楽しみメニューや行事食を提供することで、満足度を高めた。
- (6) 全体職員研修を開催し部署ごとにケース報告と事例検討を行った。さらに利用者の情報共有及び支援サービスに対する職員の意識向上を図った。
- (7) 利用者並びに職員への危機管理意識を促し、感染症予防や熱中症対策など積極的に行いリスク軽減に繋がった。新型コロナウイルス感染拡大を受け、園内でも感染予防対策を継続して行い、全利用者及び職員の健康状況等の把握に努めた。

2 就労継続支援B型事業

関係機関と連携しながら、各部署職員の専門性及び生産活動にかかる知識や能力が向上を図ることで、作業の幅も広がり利用者が主体となる活動内容を充実させた。さらに、生産品の安心・安全を追求しつつ、部署間で連携強化を行いながら生産性の向上を図った。地域への情報発信も積極的に行いながら販路の拡大にも努め、工賃向上に繋げることができた。

3 就労移行支援事業

外部清掃作業を中心に、一般就労に必要な基礎訓練（ピッキング・測量・選択・社会マナー講座等）も積極的に取り入れ、作業能力及び社会性の向上に努めた。また、企業見学や実習、講習会等の機会を設けることで利用者の一般就労に対する意識向上を図り、今

年度は2名一般就労に繋げることができた。

また、関係機関と連携しつつ、就労移行アセスメントを積極的に受け入れ、圏域唯一の就労移行支援事業所として役割を強く意識しながら事業に取り組むことができた。

4 就労定着支援事業

昨年度に新規開設し、もしもしネットとも連携しながら支援体制の強化に努めた。主に就労移行支援から一般就労した利用者に対し、家庭や企業とも連絡調整を行いつつ訪問や面談を通して利用者の就労及び生活の課題解決に取り組み、定着に向けた支援サービスの充実を図った。

Ⅱ 利用者の状況

1 年齢別性別の状況

(1) 就労継続支援B型 (人)

年齢 性別	20歳 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65歳 以上	計	平均年齢
男 性	1	6	8	12	8	1	2	38	42歳03ヶ月
女 性		5	3	7	3			18	39歳11ヶ月
合 計	1	11	11	19	10	1	2	56	41歳06ヶ月

(2) 就労移行支援 (人)

年齢 性別	20歳 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65歳 以上	計	平均年齢
男 性		3		1	1			5	35歳04ヶ月
女 性		1	1	1				3	34歳00ヶ月
合 計		4	1	2	1			7	34歳10ヶ月

(3) 就労定着支援 (人)

年齢 性別	20歳 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65歳 以上	計	平均年齢
男 性		1	1	3				5	38歳08ヶ月
女 性			1						37歳01ヶ月
合 計			1	3				1	38歳05ヶ月

2 障害別性別の状況

(1) 就労継続支援B型

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神保健福 祉手帳 2 級	精神保健福 祉手帳 3 級	身体障害者 手帳	計
男 性	12	24		1		37
女 性	2	14	1	1		18
合 計	14	38	1	2		55

※ () は重複

(2) 就労移行支援

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神保健福 祉手帳 2 級	精神保健福 祉手帳 3 級	身体障害者 手帳	計
男 性		4			1	5
女 性		2 (1)	2 (1)			4 (1)
合 計		6 (1)	2 (1)		1	9 (1)

※ () は内重複

(3) 就労定着支援

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神保健福 祉手帳 2 級	精神保健福 祉手帳 3 級	身体障害者 手帳	計
男 性		5				5
女 性		1				1
合 計		6				6

※ () は重複

III 事業の実施状況

1 農園芸班 (作業科目) 花苗栽培・花壇管理・鶏卵・野菜栽培・果樹栽培

園芸部門では、市内公園やどんぐり村等と業務契約、花苗育成から花壇管理まで幅広く取り組み、街づくり推進センターとも連携しながら園内外でガーデニング教室や子ども体験教室を開催する等、地域交流を積極的に行った。野菜栽培においては、担当職員の専門性を活かしながら、有機栽培による土壌改良及び製品の品質向上を図った。鶏卵事業では飼育環境を整備し、業務の効率化及び産卵率の向上を目指した。また、鮮度管理を徹底し、各方面の顧客に対して安定した供給及び満足度の向上にも努めた。

2 菌床椎茸・業務受託（清掃）班 （作業科目） 菌床椎茸栽培・児童発達支援センター清掃

菌床椎茸部門では、菌床の入荷時期を調整することで管理業務の軽減及び作業の効率化を図り、部署間での業務連携も柔軟に対応出来た。また、新規に木耳や原木椎茸栽培にも着手し、規格外の加工等にも積極的に取り組むなど収入増を目指した。

業務受託（清掃）部門では、外部での清掃作業を通して、挨拶やマナー等の社会性及び就労に対する意識の向上を図った。

3 食品加工班 （作業科目） 味噌・菓子製造販売

食品加工部門では味噌加工を中心に行い、衛生管理・品質管理を徹底し安定供給を図りながら、鳥栖市学校給食センター納品をはじめ、福祉事業所や保育園、一般顧客への販売を行った。また、基山町学校給食センター等、新たに販路を拡大出来た。

菓子部門では、園内で収穫した農作物を積極的に取り入れながら、主に受注やイベント販売に対応して生産を行った。来年度の食品衛生管理に係る制度改正を見据えた管理方法の確立に向けて準備を進めた。

4 クリーニング班 （作業科目） 法人各施設・官公庁・企業他一般向け リネンや制服等

幅広い顧客を対象に、ウェットクリーニング手法で丁寧な作業と衛生管理を徹底し、利用者並びに職員が安心して取り組める環境作りに努めた。また、部署間で連携・調整を綿密に行いながら、業務の安定化を図った。

経費削減対策を推進しながら、法人内外や顧客に対して価格改正を段階的に実施し、生産活動収入の安定化を図った。

5 主な年間契約先

作業班	主な作業内容	納品・作業場所	委託先
園芸班	花壇管理業務	八ツ並公園他 7 ヶ所	鳥栖市
園芸班	花壇管理業務	どんぐり村園内	どんぐり村
園芸班	花壇管理業務	環境課へ納品（200 ケース）	吉野ヶ里町
園芸班	花壇管理業務	筑紫野市カミーリア	筑紫野市
業務委託班	清掃業務	中央公園他 15 ヶ所	鳥栖市
業務委託班	清掃業務	児童発達支援センター	若楠療育園
クリーニング班	制服・リネン	若楠療育園	若楠療育園
クリーニング班	制服・リネン	若木園	若木園
クリーニング班	作業服他	コカ・コーラ鳥栖工場	コカ・コーラ

6 令和元年度 作業班売上

作 業 班	売 上 額
園 芸	21,755,805 円
加 工	5,805,451 円
クリーニング	27,863,852 円
業務受託 菌床椎茸	6,289,601 円
業務受託 就労移行	4,757,337 円
共 通	484,824 円
合 計	66,956,870 円

7 就労移行支援事業 就職実績

利 用 者	就 職 日	就 職 先
24 歳男性	令和元年 7 月 1 日	アステム九州
36 歳女性	平成元年 8 月 1 日	若楠療育園

8 令和元年度 工賃支給実績

就労移行支援			就労継続支援 B 型		
月	支給人数 (人)	支給額 (円)	月	支給人数 (人)	支給額 (円)
4	7	228,580	4	53	1,039,165
5	8	235,593	5	53	1,053,143
6	7	356,612	6	55	2,138,656
7	7	199,891	7	54	1,103,646
8	8	159,406	8	53	823,084
9	8	174,602	9	52	974,874
10	7	160,578	10	53	1,022,984
11	8	354,323	11	52	1,949,729
12	12	187,527	12	51	1,017,762
1	11	174,650	1	51	994,559
2	6	135,405	2	51	945,942
3	10	561,778	3	52	2,942,923
合計	99	2,928,945	合計	630	16,006,467

就 労 移 行 支 援 事 業 平均工賃 29,585 円

就労継続支援B型事業 平均工賃 25,407 円

合 計 平 均 工 賃 25,974 円

Ⅳ 地域社会との交流

1 就労移行アセスメント

利 用 者	市 町 村	期 間
17 歳男性	吉野ヶ里町	8 月 19 日～8 月 23 日 (5 日間)
17 歳男性	基山町	9 月 9 日～9 月 13 日 (5 日間)
18 歳男性	鳥栖市	11 月 25 日～11 月 29 日 (5 日間)
18 歳女性	鳥栖市	12 月 2 日～12 月 6 日 (5 日間)
18 歳女性	鳥栖市	12 月 16 日～12 月 20 日 (5 日間)
18 歳女性	みやき町	12 月 25 日～12 月 27 日 (3 日間)
18 歳女性	みやき町	12 月 25 日～12 月 27 日 (3 日間)
18 歳男性	神埼町	1 月 14 日～1 月 17 日 (4 日間)
18 歳男性	基山町	1 月 20 日～1 月 25 日 (5 日間)
18 歳男性	基山町	1 月 27 日～1 月 31 日 (5 日間)
18 歳女性	みやき町	2 月 26 日 (1 日間)
43 歳男性	福岡市西区	3 月 11 日～3 月 13 日 (3 日間)
18 歳男性	上峰町	1 月 16 日～1 月 18 日 (3 日間)

2 実習生

(1) 特別支援学校

学校名	期 間	実 習 生
大和特別支援学校	6 月 3 日～6 月 14 日	高等部 3 年生 男子 1 名
中原特別支援学校	6 月 10 日～6 月 21 日	高等部 2 年生 男子 1 名
中原特別支援学校	10 月 28 日～11 月 8 日	高等部 1 年生 男子 1 名
大和特別支援学校	11 月 11 日～11 月 15 日	高等部 3 年生 男子 1 名
中原特支田代分校	11 月 25 日～11 月 29 日	中学部 3 年生 男子 1 名
中原特別支援学校	12 月 2 日～12 月 6 日	中学部 3 年生 男子 2 名
大和特別支援学校	1 月 27 日～1 月 31 日	中学部 3 年生 男子 1 名

(2) その他

機関・団体名	期 間	実習内容・人数
精華女子高等学校	7 月 31 日	看護科 見学実習 10 名
中原特別支援学校	8 月 1 日～2 日	職員職場体験研修 2 名
佐 賀 県	8 月 30 日	新採職員体験実習 3 名

3 ボランティア

名 称	主な活動内容	人 数
梅まつり	イベント対応・販売等	26 名
作業ボランティア	園芸及び椎茸班の作業	3 名

4 交流活動

- (1) 梅まつり (2月23日)
- (2) ほんげんぎょう (1月5日)
- (3) グリーン教室 (各地区まちづくり推進センター・近隣小中学校 等)
- (4) わんぱく自然体験教室 (夏休み期間中／全3回)
- (5) 週末カフェ「ひだまり」営業

5 見学者

機関・団体名	期 日	人 数
鳥栖市	6月6日	10 名
みやき町民生委員	6月13日	25 名
佐賀みょうが塾	9月21日	25 名

V 総 務

1 職員状況

職 種	施設長	事務員	調理員	サービス管理責任者	就労移行			就労継続 B 型			定着	合 計
					生活支援員	職業指導員	就労支援員	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	就労定着支援員	
30 年度末	1	1 ※1	※4	1	1	※1	1	1	13 ※9	1	0	20 ※15
01 年度末	1	1	※4	1	1	※2	1	1	10 ※8	1	※1	17 ※15

※は短時間職員

2 職員研修

(1) 園内研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
・個別ケースの情報交換 及び支援検討会	多目的ホール	7 月 26 日	全職員対象
・「生活支援の視点」 講師：楠療育園 渡部部長 ・就労支援フォーラム報告会	多目的ホール	3 月 30 日	全職員対象

(2) 外部研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
食品産業創造展	マリンメッセ福岡	5 月 17 日	三河 知美 清水 渚
就労支援ネットワーク会議	サンメッセ鳥栖	6 月 14 日	田口 揚児 井上 志麻 中島 真美
社協福祉従事者研修 「支援につなげる記録の 書き方研修」	佐賀市文化会館	6 月 25 日	西川 将史
就労移行事業所見学	就労移行支援事業所 ディーキャリア 就労継続支援 A 型 ディアスポラ	6 月 26 日	田口 揚児 井上 志麻 天本 八重美 中島 真美 (他利用者 7 名)
消費税軽減税率説明会	佐賀県社会福祉会館	6 月 28 日	三河 知美 中島 真美
障がい者の働く場 パワーアップフォーラム	天神エルガーラホール	7 月 12 日	井手 香詠 中尾 真弓
視 察 研 修	就労継続支援センター 寿楽園 一般社団法人 れんこん	7 月 17 日	田口 揚児 馬場 昭江 三河 知美 中尾 真弓 清水 渚 執行 チヨ子
障がい児(者)の教育・福祉・就労 研修佐賀県大会	有田町	7 月 21 日	松尾 太敬 境 重信
佐賀県社会就労センター	メートプラザ佐賀	7 月 22 日	高崎 知洋

協議会「商品改善セミナー」			松尾 太敬
就労支援基礎研修	アバンセ	9月10日	井上 志麻 天本 八重美
就労支援基礎研修	アバンセ	9月17日	鈴木 一也
就労支援ネットワーク会議	サンメッセ鳥栖	9月20日	田口 揚児 井上 志麻 天本 八重美 中島 真美
協和商工展示会	ホテルニューオータニ佐賀	10月2日	清水 渚 高良 千春 執行 チヨ子 中島 真美
九州セルプ研究大会	宮崎観光ホテル	10月30日 ～ 11月1日	高崎 知洋 田口 揚児
就労支援フォーラム NIPPON 2019	ベルサール新宿 グランド	12月8日 ～ 12月9日	西川 将史 岡崎 皇太郎
佐賀県社会就労センター協議会 商品開発部 視察研修	福岡三越	1月15日	村里 清美 井上 志麻
食品表示責任者講習会	グランデはがくれ	1月21日	渡辺 健 村里 清美 中川 孝子
農福連携推進ブロックセミナー ＜九州＞	熊本地方合同庁舎	1月31日	高崎 知洋 松尾 太敬
ソーシャルビジネス勉強会 竹の活用（かいろう基山）	とす市民活動センター	1月31日	園田 裕介 富永 浩安

3 防災管理

7月に緊急連絡網に基づいた伝達訓練、10月に火災、3月に地震を想定した避難訓練をそれぞれ実施し、防火管理者を中心に様々な状況を想定し、利用者並びに職員の防災意識の向上を図った。

4 施設設備及び環境の整備状況

- ・車両入替3台（園芸・椎茸・クリーニング）
- ・厨房トイレ新設
- ・多目的トイレ整備

- ・就労移行室整備（机・椅子・パーテーション）
- ・食品加工ラベラー設置（農産加工場）

5 寄付

ご 芳 名
・みつばの会 様
・佐賀県共同募金会 様
・明治安田生命 様